

多言語対応協議会交通分科会 取組方針

- ターミナル駅等では、分かりやすい案内表記を実現するため、各主体が連携し、各主体間の垣根を越えた取組を進めていく。
- ケーススタディとして、多様な交通機関が乗り入れる新宿駅を対象として、より多くの関係者が参画した会議体を設置し、さらに議論を進めていく。
- 新宿駅の取組も参考にしつつ、各主体が相互に協力・連携体制を構築し、他の駅等にも広げていく。

新宿駅の取組

- 「新宿ターミナル協議会」設置（2015年6月）
- 「新宿ターミナル基本ルール」（2016年3月）・「整備計画」（2017年8月）を策定

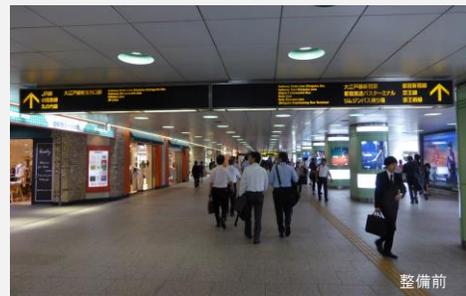
案内サインの改善

- 「サイン計画」を策定（2017年8月）
（整備前）



- 案内サインの整備を順次実施（2017年10月～）

※日英二カ国語表記



整備前



整備後

西口地下広場

サービスの向上

- ターミナルマップ等の配布
（日英版・2017年9月～、中韓版・2018年8月～）



ターミナルマップ（中・韓版）

- デジタルサイネージの整備（2017年5月）
日、英、中（繁・簡）、韓により案内



新宿駅西口地上（小田急電鉄）

渋谷駅の取組

- 「渋谷駅前サインガイドライン策定委員会」設置（2017年2月）

案内サインの改善

- 「渋谷駅前サインガイドライン」を策定（Ver1.0・2017年4月～）



※日英二カ国語表記

- 案内サインの整備を順次実施（2018年4月～）



渋谷ストリーム

池袋駅の取組

- 「池袋駅周辺地域再生委員会・駅空間WG」設置（2016年6月）

案内サインの改善

- 「池袋ターミナルサインガイドライン」を策定（2017年5月）
- 「池袋駅案内サイン整備計画」を策定（2018年5月）



※日英二カ国語表記

- 案内サインの整備を実施予定（2019年1月～）

➡ **引き続き、他の主要ターミナル駅における取組を促進**